

自衛隊消防車撤収へ

放水作業

防衛省は27日、東京電力福島第1原子力発電所で放水作業にあたった陸海空3自衛隊の消防車約10台を撤収させる方針を固めた。撤収は29日の予定で、津波や水素爆発で散乱しがれ、除去のため派遣した陸自74式戦車も戻す。東電が実施しているポンプ車での燃料貯蔵プールへの放水やリモコン式重機によるがれき除去作業が安定したと判断した。北沢俊美防衛相は25日に10万人態勢を敷く自衛隊の派遣規模について縮小検討を指示しており、消防車や要員の撤収は態勢縮小の第1弾となる。

自衛隊の消防車は航空機事故に備えた大型の「AM B3」などで、3月17日から21日にかけて第1原発3号機と4号機の貯蔵プールに計約350トンの放水を行った。その後は東電がアームの長いコンクリートポンプ車で放水しており、自衛隊の消防車は1カ月以上待機を続けていた。

仮設入居時期 答弁食い違い

国交相お盆困難も

東日本大震災の被災者向け仮設住宅をめぐり、菅直人首相がお盆までの全員入居を目指す方針を示したことについて、大皇章宏国土交通相は27日の衆院国交委員会で「首相の気持ちは受け止めるが、現在は（目標時期を）明言するところに至っていない」と述べ、難航する用地確保の行方によっては達成が困難になる可能性を示唆した。

自民党の谷公一氏は、首相答弁との食い違いについて「政府の方針ではないか」と追及したが、大皇氏は「首相答弁は事前に聞いていなかった。最善を尽くす」と述べるにとどめた。

第三者機関に 外国人専門家

原発事故検証

細野豪志首相補佐官は27日午後、都内の外国特派員協会で講演し、東京電力福島第1原発事故の原因究明などのために設置する第三者機関について「第2の東京裁判にするつもりはないが、外国の専門家にも検証

連日、閣議で緊急事態宣言をめぐり、菅直人首相が27日、賛成することを決めた。5月2日の参院本会議で成立する見通し。

◎中川氏「大政奉還が憲政の常道」

自民党の中川秀直元幹事長は27日、内外ニュース東京懇談会で菅直人首相の東日本大震災や原発事故への対応を批判し、「非常時の首相にふさわしくない。民主党が後継を作れないなら大政奉還するのが憲政の常道だ。（自民党の）谷垣禎一総裁が首相、仙谷由人官房副長官が副総理で、期間限定1年間の内閣なら自民、公明両党はまと

理由として「検証が閉鎖的で、日本の中でしか通用しない結果となれば、日本の国際的な信用が失墜する」と述べ、検証結果に対する国際社会の信認を得る必要性を指摘した。

事故を検証する組織をめぐっては、菅直人首相が26日の衆院予算委員会、中立の第三者機関とし、5月26日からフランスで開かれる主要国首脳会議（サミット）までの設置を目指す考えを明らかにしていた。

【午後】0時6分、寺田氏が出た。7分、首相会議室。1時16分、執務室。2時5分、特別応接室。6分から16分、茨城県笠間市「かさま額光大使」の小田倉善徳さん、横山紗織さんら。17分、執務室。4時9分から30分、与謝野馨経済財政担当相、玄葉光一郎国家戦略担当相、平野達男内閣府副大臣。31分から5時4分、与謝野氏、藤井裕久首相補佐官、津村啓介民主党衆議院議員、峰崎直樹内閣官房参与。5時から8分、平野氏。16分、小ホール。17分から44分、中央防災会議。45分、執務室。6時4分、大会議室。5分から58分、社会保障改革に関する集中検討会議。7時、執務室。1分から11分、阿久津幸彦内閣府次官。11分から8時15分、海江田万里経済産業相、松永和夫経産事務次官、細野哲弘資源エネルギー庁長官。22分から44分、福山哲郎官房副長官。47分、官邸発。48分、公邸着。

菅日誌

27日



補懲りた。容 それに小沢さんは表舞台にみ 出ようとは思ってませんよ。言葉はよくないけど「座敷牢」のような立場に置かれてるんだから。若い人は「小沢さんは常に目の目を見ようとする」と考えているかもしれないけど、そんな人ではない。内閣不信任案が可決されれば首相指名では自民党は谷垣禎一総裁を当然推すことになる。もしかしたらこの候補も過半数に届かないかもしれない。そうなりそうだったら与野党が真剣に協議して新しい首相を決めればいい。1年間の期間限定で与野党みんなが話し合いのテーブルについて震災復興策を進めていけばいいじゃない。

大震災の影響ですぐに解散はできない。それに「一票の格差」訴訟で最高裁大法廷が「違憲状態」と判決を下したでしょ。選挙制度だって超党派で話し合わなければならぬんだよ。

とにかくもう政治空白は許されないんだからオールジャパンでやるしかない。でない立とわれわれは死んでも死にきれないよ。

(石橋文登、赤地真志帆)

突然出てきた法案を承認するだけ（小沢系中堅）。不満のほけ口は「造反」や議連での政府批判の形を取るようになった。「志を同じへする考え方の近い人たちが結集した」

細野豪志首相補佐官は27日午後、都内の外国特派員協会で講演し、東京電力福島第1原発事故の原因究明などのために設置する第三者機関について「第2の東京裁判にするつもりはないが、外国の専門家にも検証

提言に考えをめぐり、菅直人首相が27日、賛成することを決めた。5月2日の参院本会議で成立する見通し。

◎中川氏「大政奉還が憲政の常道」

自民党の中川秀直元幹事長は27日、内外ニュース東京懇談会で菅直人首相の東日本大震災や原発事故への対応を批判し、「非常時の首相にふさわしくない。民主党が後継を作れないなら大政奉還するのが憲政の常道だ。（自民党の）谷垣禎一総裁が首相、仙谷由人官房副長官が副総理で、期間限定1年間の内閣なら自民、公明両党はまと